

第 33 回日本皮膚外科学会 総会・学術集会

プログラム・抄録集

会期：平成30年9月1日（土）・2日（日）

会長：加茂理英（香芝生喜病院 皮膚科）

会場：大阪市立大学医学部 4 階講堂（大阪府大阪市）
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

第 33 回事務局：大阪市立大学医学部 医学研究科 皮膚病態学

事務局長：小澤 俊幸

〒558-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

Tel 06-6645-3826（代）

E-mail: jads33@med.osaka-cu.ac.jp

学会ホームページ：<http://jads33.umin.jp/>

第 33 回開催のご挨拶

第 33 回日本皮膚外科学会総会・学術集会を 2018 年 9 月 1 日（土）・2 日（日）の 2 日間にわたり、大阪市立大学医学部大講義室で開催させて頂くことになりました。本学術大会を主催いたしますことを、大変光栄に存じますとともに大きな責任を感じております。本学会の副理事長の中川浩一先生が、1995 年に同大学附属病院講堂で第 10 回の本学術大会を開催されて以来となります。暑い夏に開催されるイメージの強い皮膚外科学会を、前回と同様に天王寺にある大阪市立大学で開催いたします。

今回、テーマ演題は「顔面の局所皮弁」を選びました。顔面の局所皮弁による再建は私の永遠のテーマであります。整容的に満足できない結果もときに経験します。みなさまに皮弁デザインや選択で注意している点や工夫をご発表いただき、再建における多様な視点を再考する機会にさせていただければと思います。

シンポジウムは、皮膚外科の「継承」をテーマに企画しました。皮膚外科を若い先生に伝えることの難しさを日々痛感しております。今回 4 名の先生に皮膚外科への取組・工夫や経験についてご講演をお願いしております。会場の先生と一緒に指導について考える機会になればと期待しております。

特別講演は、都立墨東病院皮膚科の沢田泰之先生に「超音波で皮膚を切る」のタイトルでご講演をいただきます。日常診療でよく使用されている超音波検査ですが、機械は日々進歩しております。超音波検査と病理組織の所見を比較し形態学的な評価についてご講演いただきます。新しい超音波検査の使用法として診療の幅が広がるのではと思います。

ランチョンセミナーは、9 月 1 日は新潟県立がんセンター新潟病院の竹之内辰也先生に「皮膚癌診療におけるリスクマネジメント —医療訴訟の体験から—」について、9 月 2 日は国立がん研究センター中央病院の山崎直也先生に「進歩する悪性黒色腫治療 ステージ別にみた新たな治療戦略」について講演をお願いしております。

大阪市大医学部は、大阪南の玄関口である天王寺に近く、新大阪駅や伊丹・関西空港からのアクセスが良好です。天王寺には日本一高いビルあべのハルカスの最新建築がありますが、すぐ近くにはパリのエッフェル塔と凱旋門を模した通天閣と昔ながらのお店や地元の方々に長いこと愛されている美味しい食べ物が味わえる新世界があります。学術集会とともに、これら大阪の味も楽しんで頂ければと思います。

それでは、皆様にお会いできますことを、スタッフ一同、心より楽しみにしております。みなさまお誘いあわせの上、ぜひ天王寺にお越しください。

2018 年 7 月 吉日

第 33 回皮膚外科学会総会・学術大会

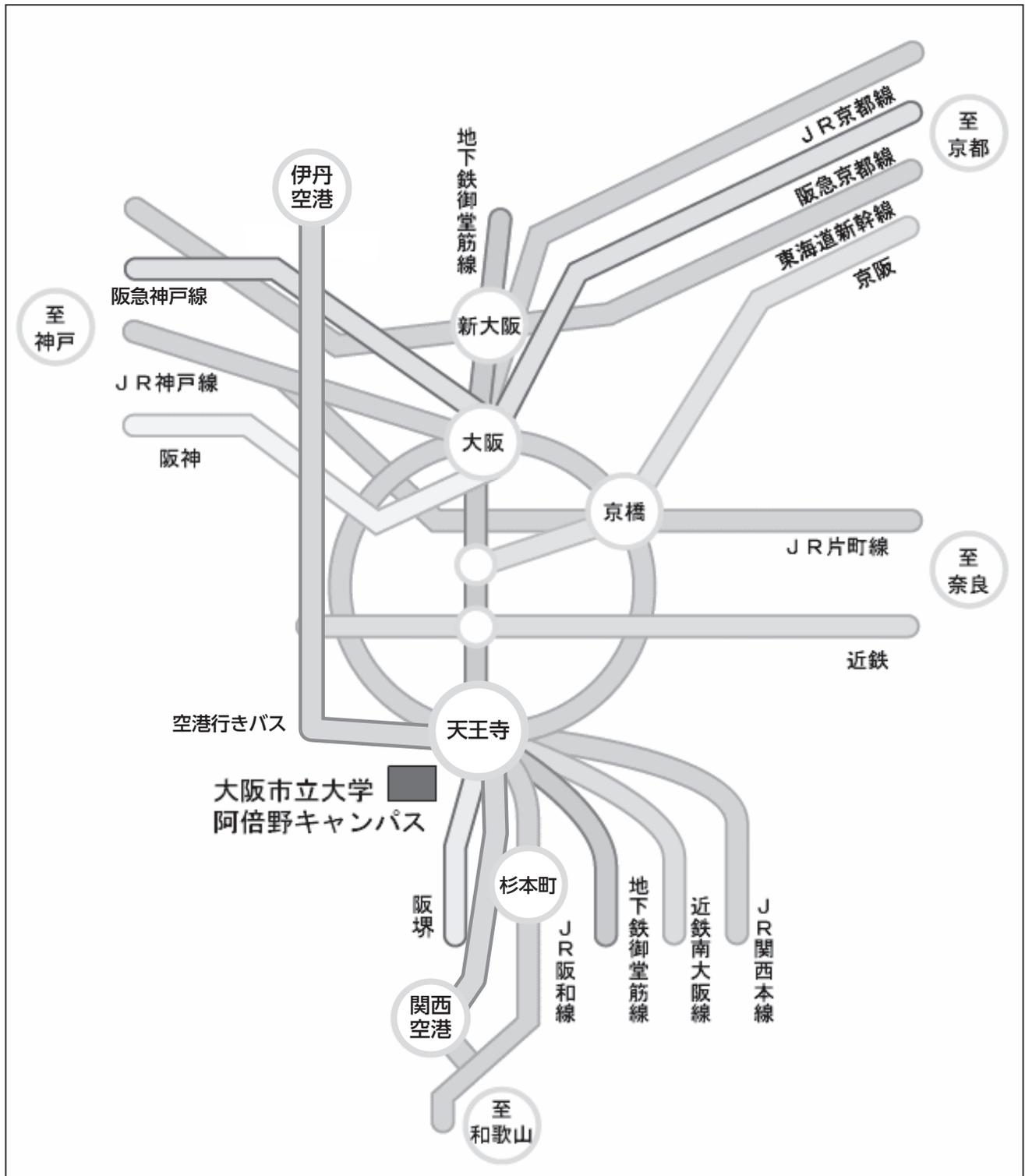
会長：香芝生喜病院 皮膚科 加茂理英

事務局長：大阪市立大学医学部 皮膚科 小澤俊幸

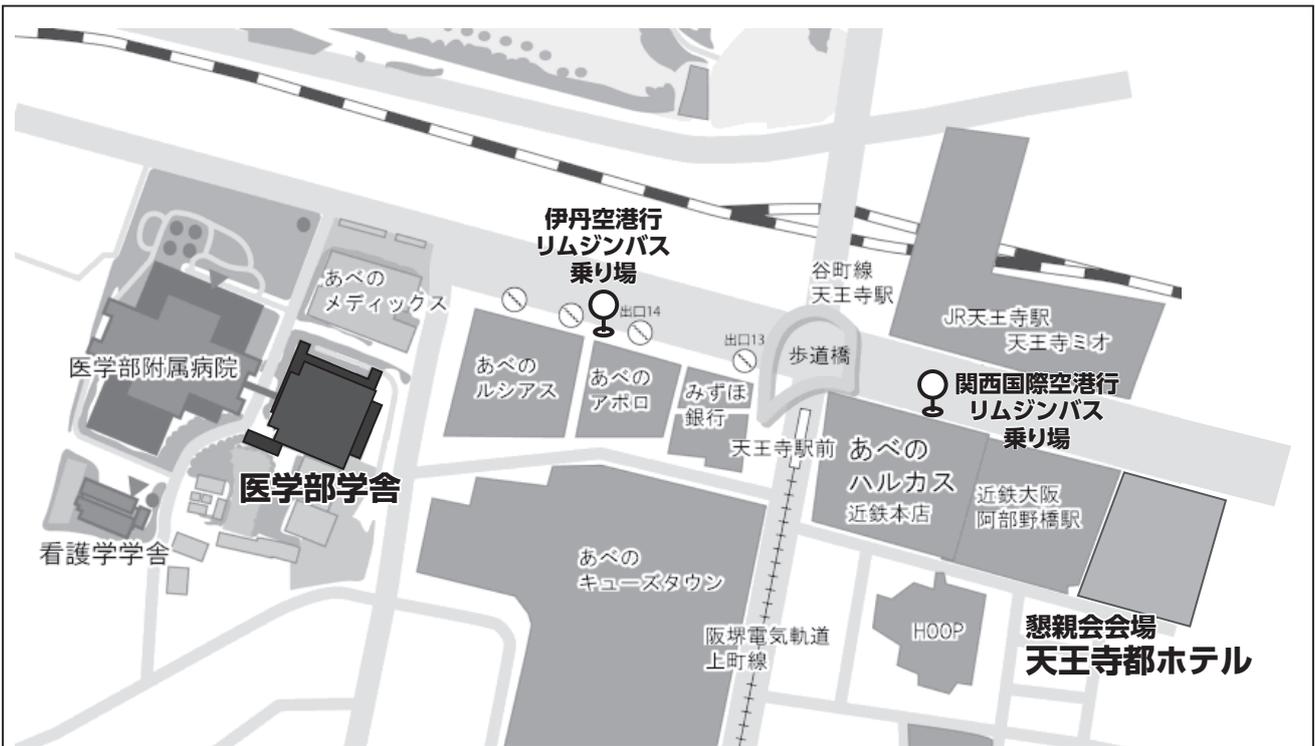
日本皮膚外科学会・学術集会 歴代会長

回	会 期	会頭・会長	所 属
第1回	1986年 11月 8日	宮崎 孝夫	兵庫医科大学
		熊野 公子	神戸大学
		清水 良輔	神戸大学
第2回	1987年 9月 5日	宮崎 孝夫	兵庫医科大学
		熊野 公子	神戸大学
		清水 良輔	神戸大学
第3回	1988年 9月 3日	宮崎 孝夫	兵庫医科大学
		熊野 公子	神戸大学
		清水 良輔	神戸大学
第4回	1989年 9月 3日	宮崎 孝夫	兵庫医科大学
		熊野 公子	神戸大学
		清水 良輔	神戸大学
		伴 政雄	神戸大学
第5回	1990年 9月 2日	大原 國章	虎の門病院
第6回	1991年 9月 8日	熊野 公子	兵庫県立成人病センター
第7回	1992年 9月 6日	川端 康浩	東京大学
第8回	1993年 9月 5日	伊藤 孝明	兵庫医科大学
第9回	1994年 9月 4日	大原 國章	虎の門病院
第10回	1995年 9月 3日	中川 浩一	大阪市立大学
第11回	1996年 10月12日	宮里 肇	沖縄県立那覇病院
第12回	1997年 8月30日～31日	大西 誉光	帝京大学
第13回	1998年 10月17日～18日	荒川 謙三	岡山大学
第14回	1999年 8月28日～29日	松川 中	社会保険中央総合病院
第15回	2000年 9月 9日～10日	緒方 克己	宮崎医科大学
第16回	2001年 10月13日～14日	岩崎 泰政	広島大学
第17回	2002年 8月31日～9月1日	鈴木 正	埼玉医科大学
第18回	2003年 8月23日～24日	神谷 秀喜	岐阜大学
第19回	2004年 8月28日～29日	水嶋 淳一	東京女子医科大学
第20回	2005年 8月27日～28日	熊野 公子	兵庫県立成人病センター
第21回	2006年 8月26日～27日	竹之内辰也	新潟県立がんセンター
第22回	2007年 6月 9日～10日	大原 國章	虎の門病院
第23回	2008年 8月 9日～10日	岸本 三郎	京都府立医科大学
第24回	2009年 6月20日～21日	臼田 俊和	社会保険中京病院
第25回	2010年 9月 4日～ 5日	橋本 裕之	大分アルメイダ病院
第26回	2011年 8月20日～21日	八田 尚人	富山県立中央病院
第27回	2012年 9月 1日～ 2日	高橋 和宏	岩手医科大学
第28回	2013年 7月13日～14日	田中 俊宏	滋賀医科大学
第29回	2014年 9月13日～14日	山本 有紀	和歌山県立医科大学
第30回	2015年 10月10日～11日	伊藤 孝明	兵庫医科大学
第31回	2016年 9月13日～14日	清原 祥夫	静岡がんセンター
第32回	2017年 7月22日～23日	中村 泰大	埼玉医科大学国際医療センター

会場アクセス



主要交通機関からのアクセス



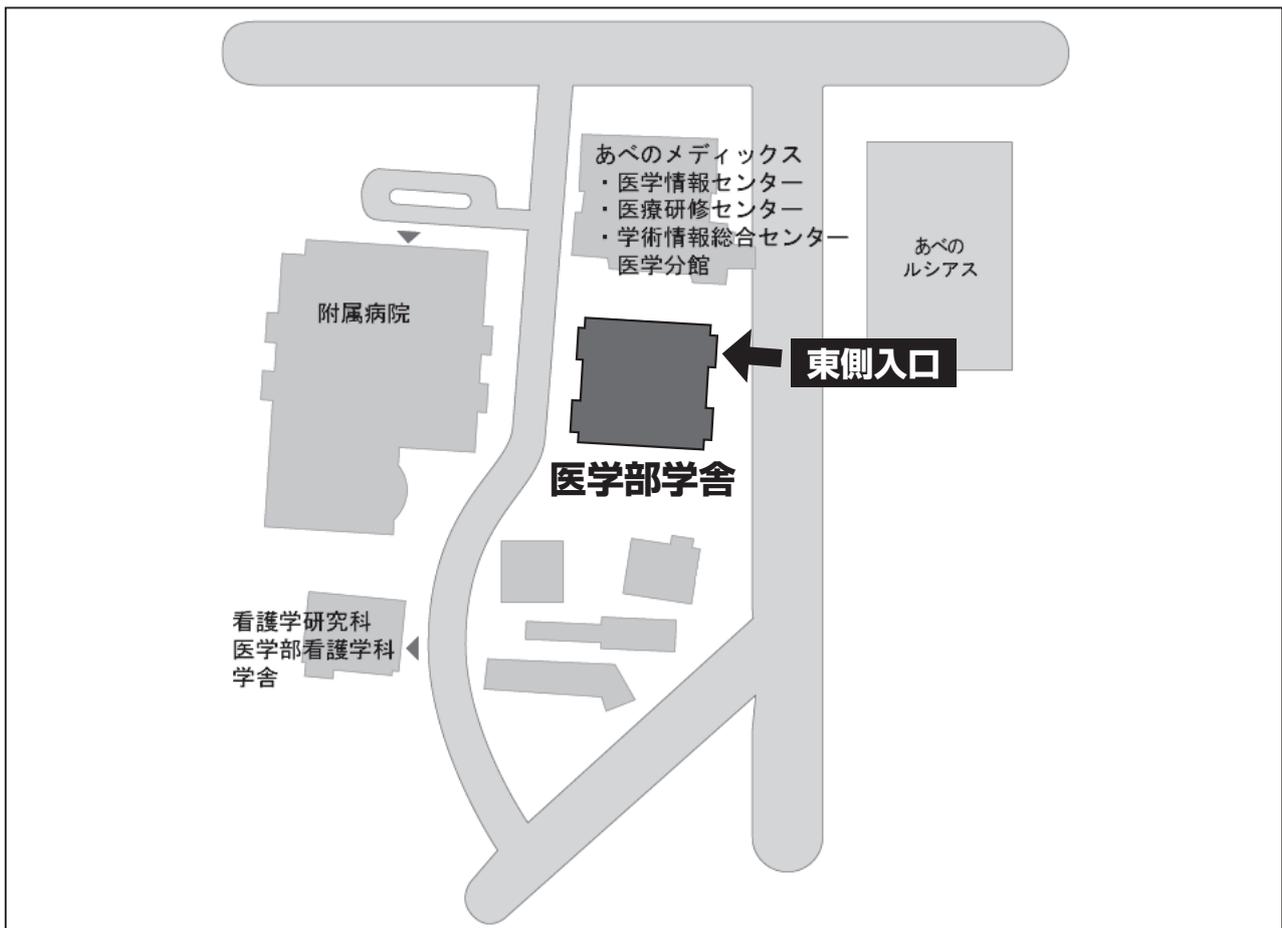
最寄り駅

- JR「天王寺駅」
- 近鉄「あべの橋駅」
- 地下鉄御堂筋線「天王寺駅」
- 地下鉄谷町線「天王寺駅」
- 阪堺電車「天王寺駅前駅」

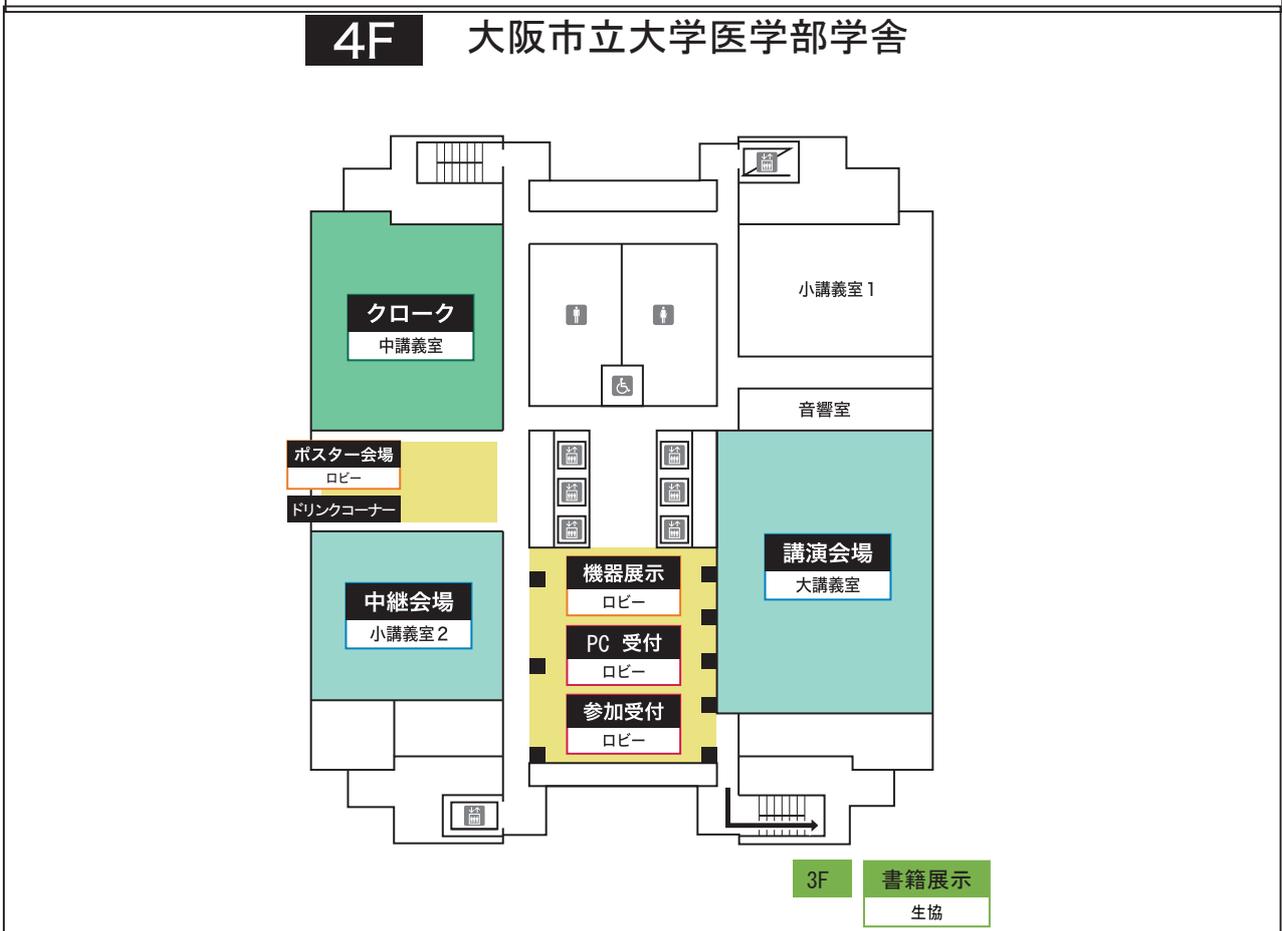
JR 天王寺駅から徒歩の場合

JR 天王寺駅南口を出ると大きな交差点をぐるりと囲む大きな歩道橋があります。歩道橋を使って、JR 天王寺駅と対角線にある交差点角に渡って下さい。そのまま大きな通りの歩道を西へ（自転車置き場に沿って）進んで下さい。（左手にきんえいアポロビル、あべのルシアスを見ながら進むことになります。）まっすぐ横断歩道を渡ると、角にある建物があべのメディックスのビルです。医学研究科と医学部の学舎は、あべのメディックスの裏側になります。

キャンパス拡大図



4F 大阪市立大学医学部学舎



参加者の方々へのお知らせとお願い

参加者の方々へ

1. 受付時間：平成 30 年 9 月 1 日（土）8：30～17：00
9 月 2 日（日）8：30～15：00
2. 受付場所：大阪市立大学医学部学舎の総合受付にて行います。
参加受付票に必要事項をご記入の上、参加費 10,000 円をお支払いください。
3. 抄録集：会員の方には事前にお送りしておりますので、必ず持参してください。
会場で購入される場合には、総合受付にて 1 部 1,000 円で販売いたします。
4. 受講証：皮膚科専門医資格をお持ちの方は、日本皮膚外科学会認定の後実績 6 単位認められます。
専門医受付でご記帳後に「後実績受講証」をお受け取りください。
専門医後実績の受付時間は下記のとおりとなります。
参加受付の時間とは異なりますので、必ず時間内に手続きをお済ませください。
後実績受付時間：9 月 1 日（土）9：00～17：00
9 月 2 日（日）9：00～12：00
5. 皮膚科領域講習の単位認定：2018 年 4 月以降、新専門医制度における単位取得が開始されたことに伴い、下記プログラムにつきまして、聴講単位 1 単位が付与されます。

日本皮膚科学会・皮膚科専門医
新専門医制度 皮膚科領域講習：1 単位

対象講演：9 月 2 日（日）10：20～11：20 4F 大講義

特別講演「超音波で皮膚を切る」
（高周波超音波検査機器による診断と治療への応用）
講師：沢田 泰之

- ※講演開始後 15 分までに会員証を講演会場入口のカード読み取り機にかざして出席登録してください。
15 分を過ぎた場合や受講手続きが完了していない場合、途中退場された場合は単位取得ができません。
- ※単位取得希望の方は、日本皮膚科学会の会員証を必ずご持参ください。

日本皮膚外科学会への入会申込みについて

日本皮膚外科学会への入会申込み手続きは、本学会場では取り扱いませんのでご了承ください。
入会希望の方は学会本部事務局まで直接ご連絡ください。

<http://hifugeka.m78.com/>

総会

9月2日(日) 11:25～11:55 講演会場にて行います。

意見交換会・元気賞授賞式

意見交換会は1日(土) 18:30～天王寺都ホテル 6F 吉野の間にて行います。元気賞授賞式は20:00より行います。学会参加者はどなたでも意見交換会(懇親会)・元気賞授賞式に参加できますので是非ご参加ください。

質疑をされる皆様へ

座長の指示に従い、討論用マイクを用いて「所属・氏名」を述べてからご発言ください。また、備え付けの質疑応答用紙にその内容を記載し、会場内の進行係にお渡しください。

クロークについて

中講義室にクロークがございますのでご利用ください。
※翌日までのお預かりはできませんのでご注意ください。

座長の先生方へ

ご担当セッションの開始10分前までに、次座長席(会場内右側前方)にご着席ください。座長席上に計時装置が設置してありますので、進行は時間厳守をお願いします。また、座長の先生方のご質問・ご意見も、質疑応答用紙にご記入ください。

口演発表者の方へ

1. 学会参加受付後、PC受付へお越し下さい。発表10分前に、次演者席(会場内左側前方)にお越し下さい。
2. 口演時間は、発表5分、討論3分です。
3. 口演発表は、すべてPC(パソコン)による発表のみとさせていただきます。発表の30分前までに「PC受付」までお持ち下さい。お持ち込みいただけるメディアはUSBメモリーのみとさせていただきます。データのファイル名は、必ず「演題番号+氏名」としてください。データは、コンピュータウィルスの無いことをチェックした上でお持ち込み下さい。必ずバックアップ用のデータもお持ち下さい。
4. 会場に用意するPC(パソコン)は、Windows10です。使用可能なアプリケーションはWindows版PowerPoint2010/2013です。PowerPoint2007以前で作成したデータは色の互換性の無い場合がありますので、同2010以降で色の確認をして下さい。文字フォントは、OSに設定されている標準的なフォントをご使用ください。口演用スライドは、4:3で作成して下さい。(横長で作らないで下さい)。
5. Macintosh版のPowerPointで作成した場合は、Windows10以降のOSのパソコンで正しく表示されることを必ず確認して下さい。
6. 口演用データでは、画面切り替え効果は使用しないで下さい。動画・アニメーションの使用は差し支えありませんが、必ずPC受付にて動作確認し、万が一スムーズに動作しない場合は使用しないでください。動作しない場合に備えて動画・アニメーションを用いないスライドデータも必ずご用意願います。なお、動画に関しては口演用パワーポイントに挿入してご使用ください。パワーポイントと別個

に動画用データを口演中に開くことはできません。

7. 発表の際は、演台に設置してありますモニター、マウス、キーボードを使用して、演者ご本人により操作して頂きます。
8. ノートパソコンの持ち込みによる発表は、お受けできません。

ひと目ご覧ください：ポスター展示の方へ

1. 学会参加受付後、「PC 受付」へお越し下さい。
2. 展示は、ポスター会場の展示パネルにお願いします。演題名、演者名、所属（縦 20cm×横 70cm）も各自ご作成下さい。展示は 1 日（土）8：30 より、お願いします。自由討論となります（口演はありません）。撤去は 2 日（日）15：40 より、お願いします。
3. ポスター展示はピンによる固定です。ピンは会場にて用意いたします。
4. ポスター本文の貼付面は縦 160cm × 横 90cm です。
5. 学会閉会後に残っているポスターは、事務局にて処分させていただきますのでご了承下さい。

学術集会の発表における利益相反（COI）開示について

日本皮膚外科学会では、利益相反について「日本皮膚科学会 COI ガイドライン」に準じ申請をお願いします。筆頭発表者は該当する COI 状態について講演発表は発表スライドの最初に、ひと目ご覧下さい：ポスター発表は最後の偉業に開示していただくようお願いいたします。

日本皮膚外科学会元気賞

一般演題、テーマ演題の中から最優秀発表賞を選びます。副賞は 10 万円です。ただし、論文（発表プロシーディング）を学会開催日から 11 月末までに、会場または本部事務局にお届け頂けなかった場合は、受賞資格を失います。受賞者は翌年度の日本皮膚外科学会総会・学術集会時に発表・表彰させていただきます。

学会使用原稿提出のお願い

本学会の発表演題は、原則として全て日本皮膚外科学会誌にその要旨を掲載させていただきます。お手数ですが、学会当日に下記の要項にしたがって原稿の提出をお願いします。なお、後日学会本部事務局で原稿内容を一部変更させていただく場合がありますので、プリント原稿一部と CD-R（電子データ）の両方の形での提出をお願いします。強調文字（太字、ボールド体）の設定は行わないでください。

※「参加者の方々へのお知らせとお願い」は、学会開催までに変更することがあります。

学術集会ウェブサイト「参加者へのご案内」(<http://jads33.umin.jp/participant/index.html>) をご覧下さい。

日本皮膚外科学会元気賞歴代受賞者

	口 演 賞	雑誌論文賞
第 25 回大会 (2010 年)	中 村 泰 大 (筑波大学)	横 溝 英 菜 (虎の門病院)
第 26 回大会 (2011 年)	中 村 泰 大 (筑波大学)	河 合 幹 雄 (広島大学)
第 27 回大会 (2012 年)	有 馬 豪 (藤田保健衛生大学)	有 馬 豪 (藤田保健衛生大学)
第 28 回大会 (2013 年)	伊 藤 孝 明 (兵庫医科大学)	伊 藤 孝 明 (兵庫医科大学)
第 29 回大会 (2014 年)	中 村 泰 大 (埼玉医科大学国際医療センター)	中 村 泰 大 (埼玉医科大学国際医療センター)
第 30 回大会 (2015 年)	橋 本 裕 之 (大分医師会立アルメイダ病院)	橋 本 裕 之 (大分医師会立アルメイダ病院)
	元 気 賞	
第 31 回大会 (2016 年)	鹿 児 山 浩 (新潟県立がんセンター)	
第 32 回大会 (2017 年)	眞 部 恵 子 (岡山医療センター)	

日本皮膚外科学会誌投稿用原稿作成の要領

学会発表前の発表データ受付時に印刷されたものとデータ(様式は後述)の両方をご提出ください(もちろん発表用データも!)。カラー印刷になりますので、すべてのページをカラープリント専用紙(写真が含まれる場合は光沢紙)での提出をお願いいたします。図表を貼り付ける場合は、必ず直接貼付して下さい。図、表もカラー印刷できます。

1. 原稿は原則見開きの2ページ(3ページ以上も可、4ページ以上になる時は後の学会事務局まで直接ご連絡下さい)とし、奇数ページ(左ページ)に文字を印字し、偶数ページ(右ページ)に写真、図、表になりますが、奇数ページに図表の挿入も可能です。

なお、学会当日での討論を可能な範囲で追加させて頂くこととなりますので、参考文献の後、または最終ページに横8×縦4cm程度の空欄を開けてください。

2. 写真は個人を特定できないように眼などにマスクをお願いします。マスクがなく個人の同定が可能と思われる写真に対しては、編集委員が写真に手を加える場合がありますのでご了承下さい。特別講演は4ページ程度で企画は自由とします。なお写真は必ずカラーでお願いします。

いずれの場合も、レイアウトは編集委員が変更する場合がありますのでご了承下さい。

3. 下図のごとく、上下(約3cm)・左右(約2cm)のマージンを設定し、その中におさめて下さい。演題名と演者、演者所属は概ね縦3cmの中に入れ**演題名はゴシック体で、他は明朝体でお願いします。**特に本文は必ず明朝体で印字して下さい(ゴシック体での本文は再提出していただくこととなります)。**強調文字(太字またはボールド体)の設定は絶対に行わないで下さい。**

4. 演題名は13ポイント(ゴシック体)、演者所属、演者は10

~11ポイント(明朝体)でワープロ印字(すべてにおいて**強調文字:太字またはボールド体の設定は絶対に行わない事**)し、**センタリング**して下さい。字間、行間は適当で結構です。**本文は9ポイント(明朝体)**とし、概ね1行24字、本文42行の2段組で印字して下さい。

段間は約1cmにして下さい。句読点は「、」または「,」と「。」を用いて下さい。

5.利益相反が無い場合は「本稿について他者との利益相反はない。」と、引用文献の1行上に記載して下さい。

6.文献は本文に出てきた順に1)、2)、3)、4-7)の形で番号を打ち、記載は以下の通りとします。

①雑誌:番号・筆頭著者(ほか)、雑誌名、巻:最初のページ、発行年

(例)1. 本間 其:臨皮, 48(5増):12, 1994

②単行本:番号・筆頭著者:書名、版、巻、題名、最初のページ、書店名、発行年

(例)2. 中川浩一:皮膚科診断治療体系,初版,Suppl.1,亜急性皮膚エリテマトーデス,p74,講談社,1990

なお、雑誌名の略称については日皮会誌を参考にして下さい。

別刷の受付は致しませんので、ご了承下さい。

7. 原稿募集は、原則学術集会2日目までに学会受付の「学会誌受付」にご提出下さい。

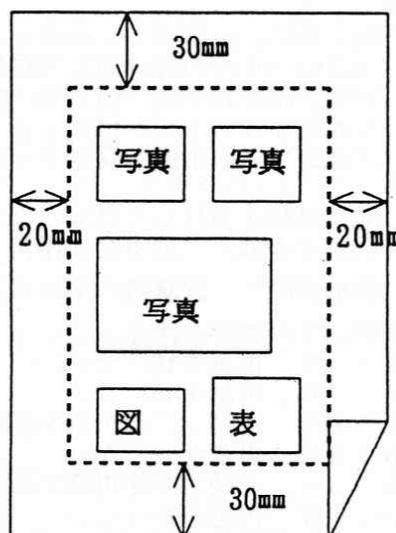
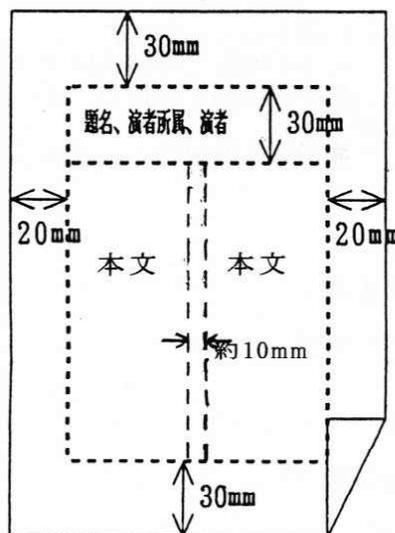
お送りの際は発表の「第〇回学会、プログラム番号〇番、演題名、口演者名、所属、連絡先(ファクシミリ番号)、メールアドレス」を記入した紙を同封して下さい。

学術集会以降の原稿送付先:〒663-8137 兵庫県西宮市池開町3-10

ワードミキ株式会社内 日本皮膚外科学会事務局宛

1 ページめ (左)

2 ページめ (右)



(枠は必要ありません)

A 4 用紙

A 4 用紙

※従来からの原稿様式です。基本的にはこの形で、若干変更して頂いても結構です。上記に従って印刷された原稿と一緒に、CD-Rでデータを提出していただきます。

日本皮膚外科学会誌投稿用データ作成の要領

第18回学会より学会当日にプロシーディングの原稿とデータを提出して頂くことになりました。事務局で可能な限り学会当日の討議を入れさせて頂くこととなりますので、原稿の他に、CD-Rによる原稿データの提出をお願いいたします。

原則として提出していただいた原稿とCD-Rなどは返却いたしません。(スライドフィルムを提出頂いた場合は学会事務局より直接返送いたします。)

データは、投稿印刷用に作成したデータをそのままコピーして下さい。画像データが印刷用のデータに含まれない形式では、画像データを入れ忘れないように注意してください。万一印刷原稿とデータ内容が異なる場合はどちらが使われるかわかりませんので、必ず同一のものにして下さい。発表用スライドのために作成したMSパワーポイントのデータをそのまま提出しないで下さい。印刷用データと発表用スライドのMSパワーポイントデータの両方をコピーしていただくことは大歓迎です。

Windows(DOS)または Macintoshのソフトで作成する場合

ソフトは、一太郎、MSワード、MSパワーポイントをお使い下さい。最新のバージョンにも対応するようにしています。アドバイラステレーターはご遠慮願います。文字原稿のページ(左ページ)はMSパワーポイントをお使いにならないで下さい。また写真のページ(右ページ用)のデータは、必ずMSパワーポイントで作成して下さい。原則としてWINDOWSパソコンで作成して下さい。(Macのデータにも対応できますが文字化けする場合がありますため)

本文がテキストデータの場合

普通にワープロで文章を作成し、テキストデータにして、一続きの文章はなるべく改行しないで下さい。本文の小見出しがあるときは必ず改行して下さい。引用文献の番号などの上付文字を振る時は「これこれ¹⁻³⁾はあれそれ」は「これこれ■1-3) ■はあれそれ」というように2つの■で囲って下さい。本文をテキストデータで提出される場合は、写真や図、表は、プリントまたは印刷してA4の紙に前ページの例に従って、貼り付けて作成して下さい。

なお、ワープロ専用機でデータを作成した場合はDOSのテキスト形式のみで受け付けます。

ファイルネームの付け方

Windows (DOS) の標準フォーマット、MacintoshはDOSフォーマットまたは標準で、下記のファイルネームを付けてください。ファイルネームの上1桁目(半角アルファベットで)

特別講演 . . . T
 一般演題 . . . I (テーマ演題も一般演題も同じ「I」です)
 あなたならどうする . . . A
 ひと目ご覧下さい . . . H
 その他 . . . S

ファイルネームの上2・3桁目(半角数字2桁で)

演題番号 . . . 演題番号が一桁の場合は、頭に0を入れてください。

ファイルネームの4桁目以降(半角アルファベットと数字で)

本文 H
 図 F 番号
 表 T 番号

の順に、ファイル名を半角で付けて保存して下さい。
 (例) 一般演題 16番の本文 . . . I16H, 図 . . . I16F2, 表 . . . I16T1

個々の画像ファイルは、(ファイル名はFig.1ならF1、Table 1ならT1などというように)本文の内容と関連のある名前にして下さい。

文字化けをさけるために本文のフォントはWindowsの場合はMSP明朝かMS明朝、Macintoshの場合はOSAKAのみにして下さい。強調文字(太字またはボールド体)の設定はしないで下さい。強調したい部分はゴシック体にして下さい。

外字は使わないでください。癢癢の「癢」、唝開の「唝」などは外字の場合があります。

CD-Rに直接下記項目を必ずご記入下さい。

口演者名
 演題名
 Windows か Macか
 作成したソフト名とバージョン
 保存されているファイル名

必ず印刷した原稿(写真・図・表は貼付でも可)とデータの両方を提出して下さい。

不明な点がございましたら何なりと学会事務局(ワードミキ)まで、メールまたはファクシミリでお問い合わせください。できればメールをお願いします。

事務局メールアドレス hifugeka@wordmiki.com 事務局ファクシミリ: 0798-49-2748
 学会誌用データ送付用アドレス hifugeka@wordmiki.com
 本部事務局長(伊藤)への問い合わせアドレス・hifugeka@kiwi.ne.jp